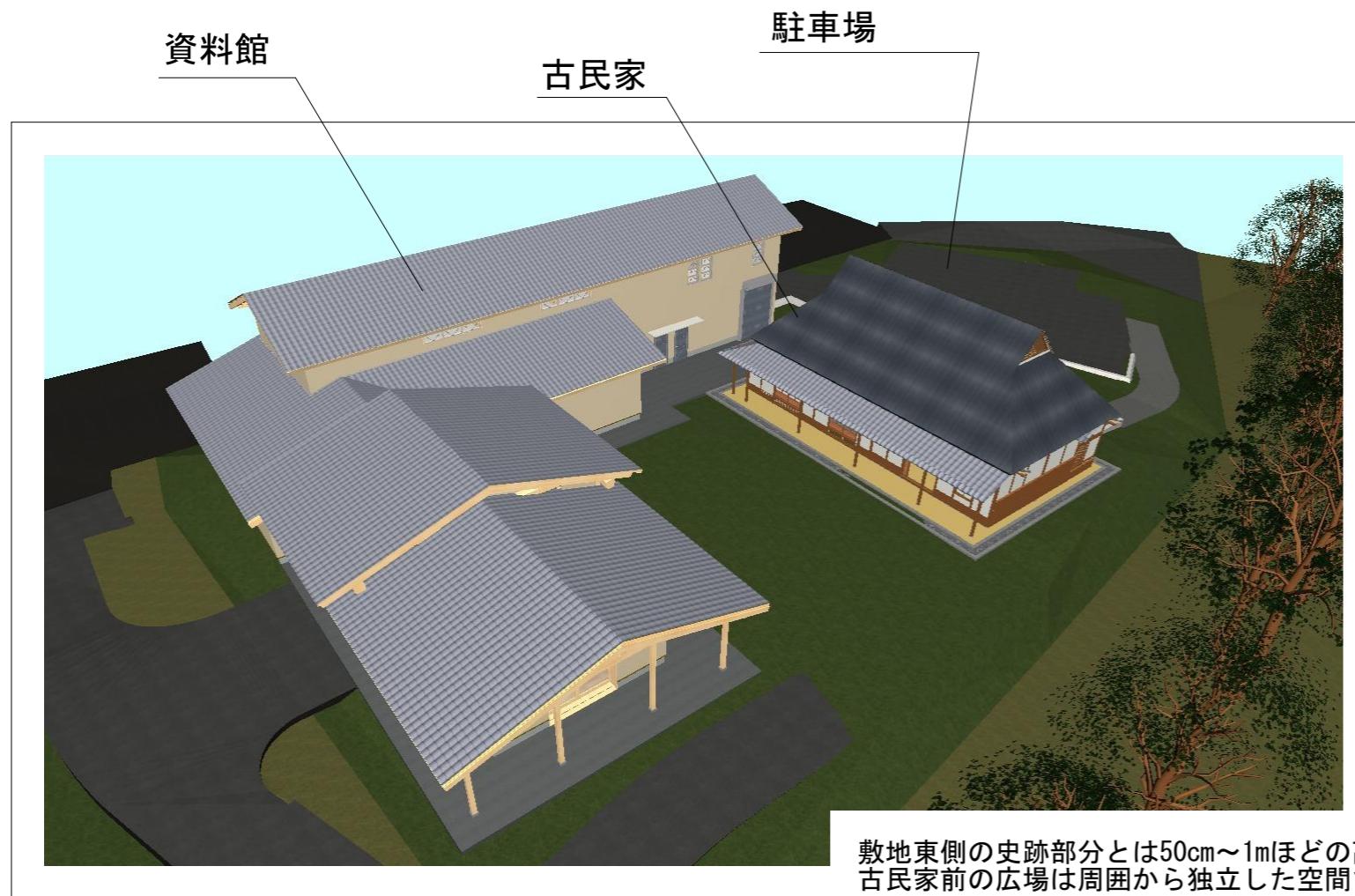


長久手古戦場公園西側ゾーン 建物配置について（案1）



ピロティ状のエントランスは、「歴史ゾーンに踏み入る」という利用者の気持ちを高める効果とともに、
 ◎公園内を散策する市民のひと休みの場、
 ◎お祭りやイベント時の参加者の集まりの場、
 ◎小学生の校外学習などでの導入案内などに利用する場としての活用を想定しています。



東側に突出させた小展示室の開口を開くことで
 「古民家～広場～資料館」が一体となり、多様な空間利用が可能です。
 WSなど市民の活動の場として積極的な活用を目指しています。

